



# JCCI Special Seminar

## 特別ランチョン講演会

「米国中間選挙後の日本人と企業～カジ取りを誤らないために！」

霍見芳浩(つるみ・よしひろ) ニューヨーク市立大学名誉教授

**\*\*This event will be facilitated in Japanese\*\***

日時：6月26日(火) 12:00～2:00 p.m. (12～12:30 ランチ)

場所：日本クラブ 5F さくらルーム(145 W 57th St. New York)

会費：\$60 (会員) \$80 (一般)

### <講演の概要>

公私ない交ぜにツイッターで喜怒哀楽を言い、批判と恫喝を乱発する米国大統領トランプ氏。自国第一のためには破壊と断絶をも厭わないとの主義主張。国民3割の固定支持層と議会優勢を背景に連日繰り広げる内政外交のショー。このトランプ流内政外交の先にあるのは何か。在米日本人経営学者の草分けとして長年に亘り日本企業を支え、叱咤激励を続けてこられた霍見教授に企業と日本人生き残りのための処方箋を伺います。

- 主なトピックス：
- 1) 中間選挙のゆくえと在米日本企業
  - 2) 草の根の民主勢力のうねり
  - 3) セクハラ・パワハラゼロ運動と米国民主義復元
  - 4) ソーシャルネット中毒の解毒剤
  - 5) 政界でも尊敬される10人の歴史上日本人から学ぶ
  - 6) 南北義務教育格差と日本の教育改革へのヒント

### <霍見芳浩氏略歴>



ニューヨーク市立大学名誉教授。カナダのクイーンズ大学、米国ハーバード大学、コロンビア大学、カリフォルニア(UCLA)大学、ニューヨーク市立大学教授を歴任。世界的な国際経営学者であり、特に日米比較経営論と政治経済論の第一人者。1980年代に「ソフトパワー政治と経済の時代」の概念と用語の創造と共に、92年以降の米国経済の再活、日米経済の再逆転、日本企業の停滞、日本経済のバブル破裂と崩壊持続、そして世界での日本の孤立を早くから警告。邦書に「脱日本のすすめ」「日本企業の悲劇」「日本企業繁栄の条件」(光文社)、「世界の心、日本の心」(ほんの木)、「日本再活論」「脱・大不況」「日本の再興」(講談社文庫)、「ジャパン・ルネサンス」(講談社)「通念破壊」(読売新聞社)、「大変革」(早稲田出版社)、「アメリカのゆくえ、日本のゆくえ～司馬遼太郎との対話から」(NHK出版)等のベストセラーがある。

### 2018 JCCI Special Luncheon Seminar(6/26/18)

Name: \_\_\_\_\_ Title: \_\_\_\_\_

Company: \_\_\_\_\_ Total Number of Attendees: \_\_\_\_\_

Tel: \_\_\_\_\_ Fax: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

問い合わせ：Email: [info@nipponclub.org](mailto:info@nipponclub.org) TEL: 212-581-2223

(Pre-event registration is required. Cancellations must be made 48 hours in advance.)